

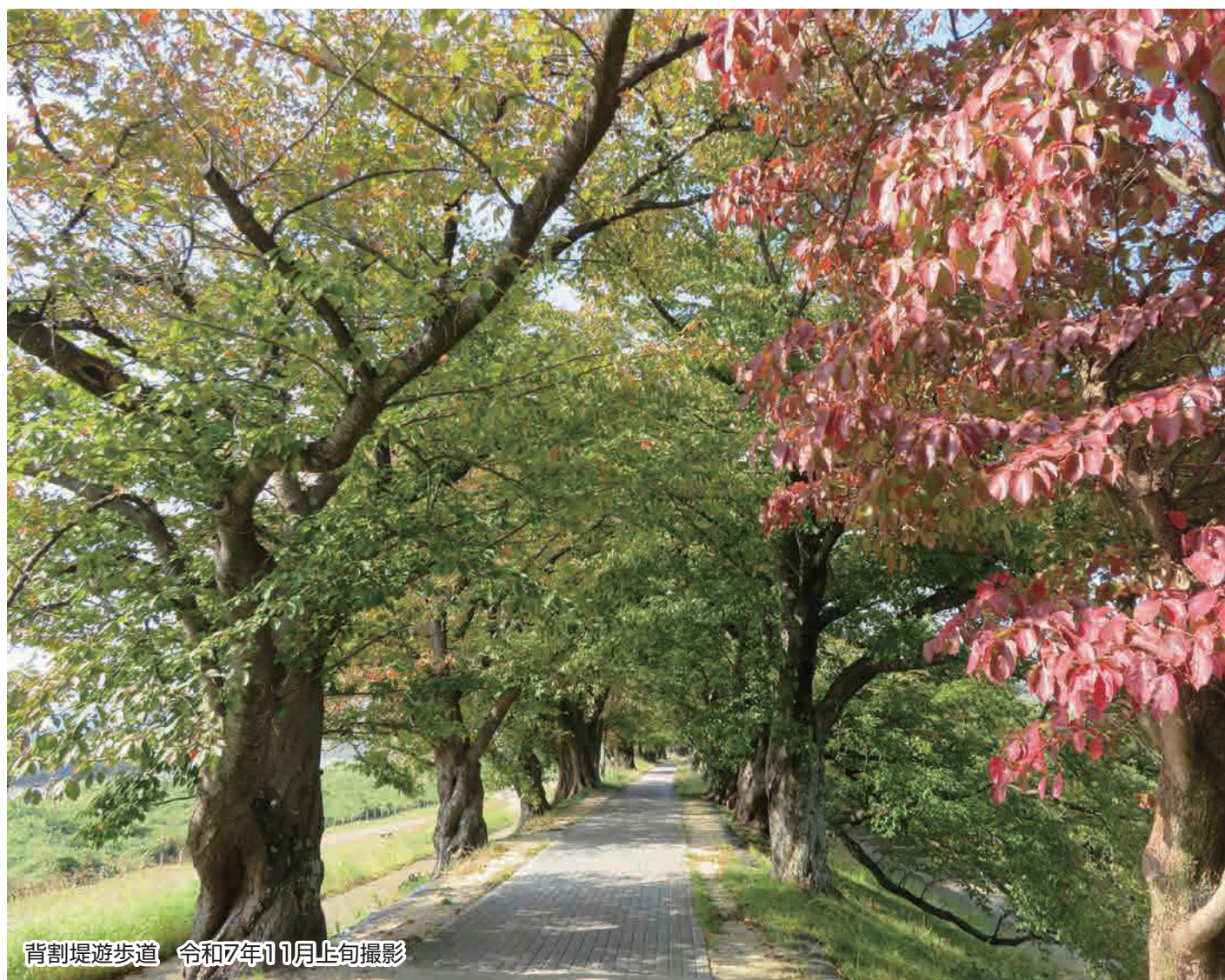
令和7年（2025年）11月27日発行

八幡市議会だより

No. 249

〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75番地
TEL 075-983-5532 FAX 075-982-9880
八幡市・八幡市議会ホームページアドレス
<https://www.city.yawata.kyoto.jp>

発行：八幡市議会
編集：広報編集会議



背割堤遊歩道 令和7年11月上旬撮影

CONTENTS

令和7年第3回定例会の概要	2～3ページ
一般質問	4～12ページ
委員会審査報告	13～14ページ
令和6年度決算特別委員会	15～18ページ
その他	19ページ
議案・議決結果一覧表	20ページ

令和7年 第3回定例会

令和7年度一般会計補正予算案など 19議案を可決・認定・適任推薦

令和7年第3回定例会は、9月4日から10月16日までの43日間の会期で開きました。

今定例会には、市長から条例案3件、令和7年度一般・特別・下水道事業の各会計補正予算案4件、令和6年度一般・特別・水道事業・下水道事業の各会計の決算認定8件、人事案1件、報告3件、その他2件、合計21件の議案が提出されました。また、議員から議員提出議案1件、市民から陳情・要望5件が提出されました。

審議の結果、議決を要しない3件を除き、議案は、すべて原案を可決・認定・適任推薦となりました。陳情・要望4件（陳情・要望第11号 公営ドッグラン設置に関する陳情、陳情・要望第12号 北陸新幹線小浜・京都ルートは撤回すべきとの決議を求める陳情、陳情・要望第13号 小・中・高校生を対象とした主権者教育の実施を求める陳情、陳情・要望第14号 自動車解体とPFASに関する調査を求める陳情）は所管の委員会で審査の上、審議未了となり、陳情・要望1件（陳情・要望第15号 安全・安心の医療・介護を守るマンパワー確保に向け、すべてのケア労働者の処遇改善につながる報酬10%以上の引き上げを国に求める陳情）は所管の委員会に付託され、閉会中の審査となりました。

なお、令和6年度の各会計の決算認定8件については、令和6年度決算特別委員会を設置して審査しました。

また、今定例会では16人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

主な議決内容

議案第45号～第48号 令和7年度の各補正予算案を可決

令和7年度の一般会計を1億7906万円増額し、総額を337億306万円に、国民健康保険特別会計を1640万円増額し、総額を73億5730万円に、後期高齢者医療特別会計を456万円増額し、総額を25億8376万円とし、下水道事業会計の「吉野遊園雨水地下貯留施設設置工事」の債務負担行為限度額を8800万円増額し、2億4800万円に変更する補正予算案を可決しました。

主な補正予算案は次のとおりです。

〈一般会計〉

● 定額減税補足給付金給付事業費

（1億1000万円）

令和6年分所得税及び定額減税の実績額等の確定により本来給付すべき所要額の変更等が生じたことに伴う経費です。

● 地域介護・福祉空間整備等施設整備助成費

（3790万円）

介護施設等における防災・減災対策を推進するための改修や整備等に対して助成するための経費です。

● 小学校管理運営費・中学校管理運営費

（1860万円）

小中学校給食費において食材費の高騰に対応するための経費です。

● 名勝松花堂及び書院庭園保存活用事業費

（1256万円）

災害復旧事業では労務単価、材料費単価の高騰に対応するため、また、保存活用事業では国の補助金を最大限に活用し事業を推進するための経費です。

〈国民健康保険特別会計〉

● 一般管理費（1640万円）

子ども子育て支援金制度施行に向けた国民健康保険システム改修のための経費です。

〈後期高齢者医療特別会計〉

● 一般管理費（256万円）

子ども子育て支援金制度施行に向けた後期高齢者医療システム改修のための経費です。

● 保険料還付金（200万円）

還付事務未処理に伴う遅延により、過年度分の保険料還付金が増加したことに伴う経費です。

議案第42号 仕事と育児の両立支援の拡充 のための関係条例の整備に関する条例案

仕事と育児の両立支援の拡充のため、部分休業の取得方法の拡大及び子育て部分休暇制度を新設するものであり、原案を可決しました。

議案第44号 八幡市下水道条例及び八幡市 上水道給水条例の一部を改正する条例案

災害時等に排水設備工事又は給水装置工事を実施する工事業者等を確保するため、災害その他非常の場合において、市長が認めるときは、他の市町村長の指定を受けた工事業者等についても排水設備や給水装置に関する工事を行うことができるようにするものであり、原案を可決しました。

議案第49号 財産の取得について

さくら小学校給食室の厨房備品を取得するものであり、原案を可決しました。

議案第59号 人権擁護委員の候補者の 推薦について

人権擁護委員1名の任期満了（令和7年12月31日）に伴い、後任として吉川 昌弘（よしかわまさひろ）氏を推薦するもので、適任と認めました。

議員提出議案

議員提出議案第2号 八幡市議会会議 規則の一部を改正する規則案

要 旨 全国市議会議長会において、標準市議会会議規則の規定の整備等が行われた

ことを踏まえ、当市議会の議事運営の実態に即した規定へ改めるほか、起立が困難な議員の表決方法に関する規定の新設、議場又は委員会室に入る者の携帯品の規定の整理、懲罰動議等を受けた議員の代理弁明に関する規定の新設等を行うものです。

審議結果 原案可決

令和6年度決算特別委員会を設置 各会計の決算を集中審査 （詳細は15頁～18頁に掲載）

委員は次のとおりです。

（敬称略） ◎委員長 ○副委員長

◎小北 幸博 ○横須賀生也
寺田 圭佑 南本 晃
中村 法子 田邊 晴美
鷹野 雅生 巖 博

本会議での討論

議案第47号 「令和7年度八幡市後期高齢者 医療特別会計補正予算（第2号）案」の討論

●山本邦夫議員が反対討論

この補正予算には保険料還付金が計上されていますが、令和6年度内に処理し還付されるべきものが令和7年度に先送りされています。還付が長

期にわたって執行されない事態は、集团的に点検、チェックされるべきものですが、それが行われなかったことについて、自治体行政としての基本が問われています。市に対し、こうした事態を二度と繰り返さない決意を強く求めて、反対します。

議案第51号 「令和6年度八幡市一般会 計歳入歳出決算の認定について」の討論

●中村法子議員が反対討論

平和首長会議への加盟、学校給食費の保護者負担一部軽減、市内小中学校体育館のエアコン設置完了などは評価できますが、国保、介護、後期高齢者医療の保険料値上げ、上下水道料金の負担が軽減されず大きな負担となっています。就学前施設の整備は効率的な予算の使い方とは程遠く、不公正な同和事業の温存、四季彩館の赤字への資金投入などにより反対します。また、議案第54・55・56号についても同様に反対です。

●横須賀生也議員が賛成討論

コロナ禍以降継続するエネルギー、原材料価格の上昇、円安などを主な要因とする物価高騰が市民の皆様の家計に大きな影響を及ぼすなか、「低所得世帯物価高騰対策支援給付金給付事業」など物価高騰対策に取り組まれるなど、市民の皆様の下支えとなる取組を進められたことは大いに評価するところであり、また、施政方針で示されました6つの基本目標の達成に向け、着実に施策を推進していただいたことから賛成します。

一般質問項目一覧

- 山本 邦夫 議員 (一問一答方式)**
 - 最低賃金引上げと給与の改善について
 - 障害児支援施策について
 - 医薬品の患者負担軽減について
- 中村 法子 議員 (一問一答方式)**
 - 健康保険証の復活について
 - 生活困窮者の支援について
 - 高校生への支援について
- 清水 章好 議員 (併用方式)**
 - 防災・減災について
 - 観幸施策について
 - 八幡浜市との交流について
- 大野 裕美 議員 (併用方式)**
 - 持続可能な地域環境づくりについて
 - 子育て支援について
 - 職員の働き方改革による市民サービスの向上について
- 田邊 晴美 議員 (併用方式)**
 - 妊活について
 - 若者支援について

- 南本 晃 議員 (併用方式)**
 - 道路環境の整備について
 - 農業振興について
- 澤村 純子 議員 (一問一答方式)**
 - 市の平和推進の取組について
 - 就学前の子育て支援について
 - 物価高騰対策について
- 中村 正公 議員 (一問一答方式)**
 - コメ問題について
 - 空き家対策について
 - 橋本駅周辺整備と文化財保護の在り方について
- 叶 善之 議員 (一問一答方式)**
 - 人事行政について
- 岡本 美徳 議員 (一問一答方式)**
 - 八幡市における選挙について
 - 八幡市における空き地問題について
- 巖 博 議員 (併用方式)**
 - 放置車両の対策について
 - 公営住宅の敷地内や周辺での不法駐車について

- 小北 幸博 議員 (一括方式)**
 - 学校給食費の無償化について
 - 八幡市公式LINEについて
 - 地域コミュニティについて
 - 労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律（労働施策総合推進法）等の一部改正について
- 福田 佐世子 議員 (併用方式)**
 - 発達障害について
 - 循環型社会の推進について
 - 地域公共交通について
- 寺田 圭佑 議員 (併用方式)**
 - クーリングシェルトーについて
 - ヤングケアラー支援について
- 横須賀 生也 議員 (一問一答方式)**
 - 持続可能な観光資源、観光まちづくりについて
 - 環境問題に関連する施策について
- 山口 克浩 議員 (一括方式)**
 - シビックプライドについて
 - DX・デジタル化の推進について

一般質問

市政を問う

令和7年第3回定例会では、9月8日・10日・12日・16日の4日間にわたって16人の議員が一般質問を行いました。質問項目は、左記に掲載しています。なお、5頁〜12頁に、質問と答弁の一部要旨を掲載しています。

QRコードはこちら



会議録検索システム



議会映像配信

会議録・映像配信をご覧ください

市議会だよりは、紙面の都合で質問の一部を掲載しています。詳しくは、閲覧コーナー（市役所2階）や市民図書館に備えてある会議録をご覧ください。第3回定例会の会議録は12月上旬から閲覧できます。

また、ホームページでは会議録の検索や過去の本会議、常任委員会及び決算特別委員会の映像配信もご覧いただけます。

				有効期限	年
国民健康保険 被保険者証					
記号番号	幅 —				
氏名					
生年月日	年月日			性別	
世帯主氏名					
住所	京都府八幡市 八幡園内 7 5 番地				
適用開始年月日	年月日				
交付年月日	年月日				
保険者番号	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </div>				
				交付者名	八幡市

国民健康保険被保険者証

最低賃金の順守／障害者福祉、医療の充実を



日本共産党
八幡市議会議員団
山本 邦夫議員

Q シルバー人材センターへ

の委託事業の配分金で、京都府の最低賃金を下回る事業が2つあります。年度途中から

最低賃金を下回る事態となつた場合の対応について、市はどう考えていますか。

A 健康福祉部長 配分金には最低賃金は適用されないと認識しています。国から、シルバー人材センターの会員へ

の配分金について最低賃金を

下回らないようにとの通知が出ています。シルバー人材センターと協議します。

Q 全国知事会の2026年度の予算要望で、障害分野の福祉サービスの報酬加算では

なく基本報酬に組み込む形で恒久的な処遇改善を求めています。内容を教えてください

会の予算要望は、福祉分野の

人材確保、定着を長期的に図れるよう、障害福祉サービス費の加算でなく基本報酬に組

み込むよう提言しています。

Q 医療用の医薬品の保険適用見直しで、患者と家族の負

担は重くなります。市はどのような認識ですか。また、子どもの医療費助成など、市で影響を受ける助成制度はどれ

ぐらいありますか。

A 健康福祉部長

OTC類

似薬の保険適用の見直しによる患者や家族の医療費負担の増加を懸念しています。一方

で、一部の過剰受診による医療費の増大等の課題を解決する可能性も含んでいます。国

の動向を注視します。また子どもの医療費以外に、ひとり親家庭医療助成、重度心身障

害児（者）医療助成、重症老人健康管理事業などの福祉医療や指定難病等の国の公費負担医療制度が考えられます。

健康保険証の復活／生活保護基準引下げ訴訟判決



日本共産党
八幡市議会議員団
中村 法子議員

Q 市民が安心して医療受診

できるように、渋谷区や世田谷

区のように本市でもマイナ保険証の有無を問わず資格確認書を全員に発行して下さい。

A 健康福祉部長 国において、マイナ保険証で適切に受診できるように順次対応してい

るほか、被保険者や医療機関等の職員の方々から利便性があると聞いています。その為

本市は一律に資格確認書を交

付する考えはありません。

Q 医療現場や市民の混乱を避けるため、国がその場しのぎの対応を繰り返した結果

分かりにくい制度になりました。健康保険証を復活させたいだけではないですか。

A 健康福祉部長 現行制度に基づき対応していきます。

Q 2013年から2015

年にかけて行われた生活保護

基準の大幅な引下げは違憲

違法であるとして訴えた裁判について、最高裁判所は、生活保護費の減額は違法という

初の統一判断を示したことに
ついて市の受け止めを聞かせ
てください。

A 福祉事務所長 国は当時の生活扶助基準の改定に関する行政処分が取り消されたも

OTC医薬品と医療用医薬品薬価の比較（単位：円）

自己負担額は3割で計算

	単位	市販薬A	医療用医薬品		比較 A/B
			薬価	自己負担額B	
アセトアミノフェン (解熱鎮痛薬)	300mg 1錠あたり	88.9	6	1.8	49倍
ファモチジン (胃酸分泌抑制薬)	10mg 1錠あたり	179.7	10.1	3.0	60倍
フェキソフェナジン (花粉症薬)	60mg 1錠あたり	103.2	10.1	3.0	34倍
ロキソプロフェンナ トリウム (湿布薬)	50mg 1枚あたり	183.3	12.3	3.6	23倍

避難所トイレ拡充、八幡浜市との友好都市交流について



公明党議員団
清水 章好議員

Q 公明党は避難所環境の改善について、特にTKB（トイレ・キッチン・ベッド）の迅速配備やスフィア基準の導入を訴えてきました。本市では12年前にラップ式トイレを8基導入し市内備蓄倉庫に保管されていますが、さらなる拡充をしていただきたい。

Q レの使用環境の向上につながるもので、拡充について検討してまいりたい。

Q 八幡浜市との中学生交流において二宮忠八翁の発明したゴム動力によるカラス型飛行機にちなみ、（仮称）手作り飛行機大会を計画し、参加者が手作り飛行機を持ち寄り、飛ばし合いをしてはどうか。

Q 飛行機大会も1つの選択肢として意見交流の場で提示してまいりたい。

Q 市政施行50周年の記念式典が行われると私は思っていますが、その際、八幡浜市の皆さんを招聘（しょうへい）して大々的に催しを行ってはどうか。

今後調整してまいります。

Q 二宮忠八翁の生涯を通じた朝の連続ドラマや大河ドラマの誘致を図られてはどうか。一昨年、川田市長が誕生したとき以上に八幡市を全国に広めることができると思います。

A **建設産業部参与** 実現すれば、シテイプロモーションや観光振興に大きく寄与するものと考えます。まずは二宮忠八翁の市民への周知を図り、機運を醸成しながら、八幡浜市をはじめゆかりのある自治体とも検討してまいりたい。



ラップ式トイレ



父親支援について・未来志向の市民サービスについて



市民共生クラブ
大野 裕美議員

Q 近年、子育てに積極的に関わる父親が増える一方で、従来の子育て支援の対象は、ほとんどが母親であった。父親支援には、母親に偏る育児負担の軽減、子どもの成長や発達へのプラス効果、男女共同参画社会の実現、父親自身のウェルビーイングの向上等の意義がある。八幡市においても、父親を子育ての主体とする

する父親支援を実施しては。

A **健康福祉部長** 専門講師による実践的な学びにより、父親の育児に対する理解や関わりを深めるため、父親を対象とした子育て講座を実施する。

Q 八幡市における父親支援が進むことを評価するが、マタニティスクール等、既存の事業においても、ピアサポート効果の期待できる父親同士

の交流の場を設けては。

A **健康福祉部長** パートナー同士の時間や場面を設定し、同じ立場での交流や情報交換を図ることは可能だと考える。

Q 市役所の窓口時間の短縮は、現在、全国の自治体で広がりを見せており、DXによる窓口業務の効率化、行政コストの抑制、確保された時間

を使用しての新たな政策立案やサービス改善等、未来志向の市民サービスに繋がっている。令和7年度予算特別委員会での答弁では、調査研究することであったが、現在の見解は。

A **政策企画部長** 窓口時間の短縮を働き方改革だけではなく、従来の窓口中心のサービスから多様な市民ニーズに対応可能なサービスへと加速的に転換させる機会であると捉え、ワーキンググループを立ち上げ、検討に着手した。

妊活・若者支援について



公明党議員団
田邊 晴美議員

Q 子どもを望むご夫婦が本格的な妊活の前に、健康状態のチェック(健診)と専門家による妊娠に関する健康教育を受ける事ができる「プレ妊活健診」を導入しては。

A 吉川副市長 まずは、プレコンセプションケア(性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたラ

イフデザインや将来の健康を考えて健康管理を行う)の考え方を周知していくことに努めたい。

Q 様々な理由で挙式をできない方のために、松花堂庭園でのプチ挙式・記念撮影が行えるよう連携したサービスをご検討いただけないか。

A 政策企画部長 市の魅力発信や市民サービスの向上、

松花堂庭園の利用促進にもつながるので検討していきたい。

Q 出産後のご夫婦の負担を減らすため、スマホやパソコンだけで、簡単に手続きができる出生届のオンライン化についてのお考えは。

A 吉川副市長 導入のメリットは大きいと考えるが後続手続での来庁の必要性が生じる。関連処理のオンライン

化を国も検討されており必要に応じて対応してまいりたい。

Q 0歳児を対象に絵本をプレゼントする「はじめての絵本事業」が好評を得ている。次の段階として「読み聞かせ黄金期」といわれる3歳児に、自分が好きな本を選び自発的な読書活動につなげるきっかけづくりとして「セカンドブック事業」を導入しては。

A 健康福祉部長 ご提案も含め子どもへの健やかな発達に有効な施策について調査、研究してまいりたい。



松花堂庭園

道路環境の整備・農業振興について



市民共生クラブ
南本 晃議員

Q 歩道のバリアフリー化が完了していない箇所について、対策できない課題があるのか。

A 建設産業部長 特段の課題等はありませんが、これまで自治会要望等も踏まえ、歩道と車道の段差解消に優先的に取り組んでおり、今後は、残る未整備箇所について順次整備してまいりたい。

Q 街路樹の成長により歩道

の縁石が大きく傾いた状態を多く目にする。どのように対応されているのか。

A 建設産業部長 破損状況や緊急度合いに応じて適宜修繕を行っています。

Q 戸津水戸城地区の産業振興ゾーンにおいて、大規模な造成工事が行われている。整備後は物流施設が建設され、地下水をくみ上げ操業される

と伺っている。大量の地下水の採取は農業用水に影響を与える可能性がある。万が一、周辺農地の井戸が枯れるなど営農に支障が出た場合、市はどのように対応されるのか。

A 建設産業部長 営農に支障が生じた場合は、事業者及び農業振興関連団体等と協議を行い、事業者に必要な対応を求めます。

Q 今後の地下水源保全のために、本市においても地下水採取規制に関する条例を制定する必要があるのではないか。

A 市民生活部長 井戸の枯渇等を防止するため、適正な地下水源を保全し、総合的な管理を行うことについて検討を進める必要があると認識している。条例の制定については、状況確認、地域における地下水量の把握といった課題の整理等が必要であり、精査をして、今後検討してまいりたい。



街路樹の根の影響により大きく傾いた縁石



非核平和について／こども誰でも通園制度／物価高騰対策



日本共産党
八幡市議会議員団
澤村 純子議員

Q 「八幡市非核平和都市宣言」に改めて目を通すと日本国憲法の平和主義の理念そのままの、素晴らしいものだと思えます。デジタルサイネージでの短期間の掲示でなく、市民の皆様時間に時間をかけて読んで頂けるような掲示方法を検討いただきたいと思います。

A 市民生活部長 デジタルサイネージの掲示時間について、

通常は非核平和都市宣言文の表示は約8秒で次の表示に切り替わるため、令和5年度より平和関係の記念日、催しの際には常時表示をする運用をしております。今年度も引き続き実施し、そのほかに全戸配布の人権情報誌に宣言文の全文を記載し、広く周知いたしております。

Q こども誰でも通園制度は、

令和8年度から利用者と事業者の直接契約になると聞いています。事故が起きた場合の責任の所在や保険など明らかにされていません。その点について教えてください。

A こども未来部長 本制度は利用者と事業者の直接契約に基づく制度であるため、事故が起きた場合などの責任については第一義的に事業者が

負うと考えますが、事業の実施に対する指導・監査の権限は市町村に付与されるため、本市としても事業者任せにせず、監督権限を踏まえ運営状況をしっかりと把握し、必要な助言・指導に努めてまいりたい。

Q 引き続き物価高騰対策として水道基本料金の減免、下水道料金も含めて今後もやっていただきたい。

A 上下水道部長 今後、新たな財源が国から示される事があれば、市長部局と協議してまいります。

八幡市非核平和都市宣言

『恒久の平和と安全は人類共通の念願であり、この至高の目標の達成なくしては、八幡市がめざしている「緑ゆたかな文化の都市」、「心のかなよう福祉の都市」の実現もまたあり得ない。

われわれ八幡市民は、いのちの尊厳を深く認識し、非核三原則が完全実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍備の縮小を強く全世界のひとびとに訴えるとともに、この人類普遍の大義に向かって不断の努力を続けることを決意した。ここに、八幡市を「非核平和都市」とすることを宣言する』(昭和57年9月28日制定)

コメ問題／文化財保存活用について



日本共産党
八幡市議会議員団
中村 正公議員

Q 米不足、異常な米価高騰の原因について、市の認識は。

A 建設産業部参与 農家の高齢化等による担い手不足、作付け面積の減少、異常気象による米の不作やインバウンド需要の急増、また家庭での購入量の増加など複合的な要因があると認識しております。

Q 2000年以降、全国の米農家は175万戸から20

24年には53万戸にまで減少しています。八幡市内の米農家の状況はどうか。

A 建設産業部参与 2000

5年に316経営体でありましたが、2020年には196経営体に減少しています。

Q 物価高騰で国民の暮らしは大変です。お米も高く食べられなくなります。負担軽減のための支援が必要では。

A 建設産業部参与 市内では米の収穫が始まっておらず、価格動向も不明なため、現時点ではお答えできません。

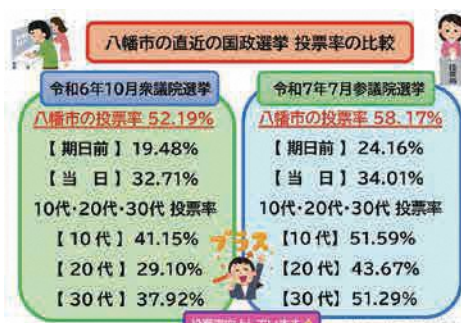
Q 橋本陣屋跡の全面発掘調査を求める声が各方面から上がっています。発掘調査はいつ再開されるのか。

A こども未来部長 国や京都府など関係機関と協議しており、調査をさらに進めるべ

きという共通認識がございます。再開時期については開発事業者と協議中でございます。

Q 日本考古学協会、日本史研究会から「保存に関する要望書」が提出され、前者について教育委員会は適切な形で保存できるよう検討しているが、具体的には。

A こども未来部長 現時点では具体的に検討する段階ではないと考えております。発掘調査をさらに進め、保存や活用方法について関係機関と協議し検討してまいります。



令和6年衆院選・令和7年参院選 投票率

会計年度任用職員について



活力やわたクラブ
叶 善之議員

Q 会計年度任用職員には月

額会計年度任用職員と時間額会計年度任用職員の区分がありますが、現在の人数を教えてください。

A 政策企画部長 人数は、月額会計年度任用職員が217人、時間額会計年度任用職員が585人になります。

Q 採用に当たって、どのような方法で採用されているの

か教えてください。

A 政策企画部長 原則公募を行った上で、競争試験または選考採用を実施しています。

Q 時間額雇用から月額雇用に変わる時も同様の選考試験が行われているのですか、教えてください。

A 政策企画部長 月額会計年度任用職員の採用についても、公募による競争試験また

は選考採用を実施いたします

ので、本市の時間額会計年度任用職員が、受験される場合においても同様の試験に応募していただくことになります。

Q 今年度、本人の強い希望で時間額から月額雇用に変えてもらった人がいると相談をうけました。それはどういうことでしょうか。そして、公募はされていたのですかお答

えください。

A 政策企画部長 本人の強い希望を持って採用されることはございません。昨年度に1件、時間額会計年度任用職員を月額会計年度任用職員に採用する公募しない事案がございました。本件については、今年度、顧問弁護士に法的対応について相談し、八幡市職員分限懲戒等審査会を行い、担当管理職員を嚴重注意処分いたしました。今後も公募を原則とし、公平公正な採用試験を実施してまいります。



八幡市における不正防止・より健全な投票について



無会派
岡本 美徳議員

Q 選挙は私たちの暮らしに直結する政策や将来の方向性を決める大切な機会であり、その認識の広がり投票率向上につながる。一部の既得権益の政治ではなく、国民全体の利益となるため、政治に参加し一緒に声を上げてほしいと思います。期日前投票制度や不在者投票制度が広く利用されるようになり、投票の利

便性が高まる一方で、二重投票を未然に防ぐことが重要であります。投票所入場券が手元にならない場合、本人確認においてどのような手続きを行っているか、不正投票の防止を図っているか。

A 選挙管理委員会事務局長 期日前投票では本人である旨の宣誓を頂き、氏名、住所、生年月日を期日前投票宣誓書

に記入の上、選挙人名簿と照合し受付を行う。当日投票は運転免許証など本人確認書類の提示を求め選挙人名簿と照合の上、受付を行う。なお本人確認書類がなくても、氏名、住所、生年月日を口頭で確認し、選挙人名簿と照合ができれば投票は可能です。

Q 期日前投票の場合、不正防止、より健全な投票は本人

確認書類の提示が必要だと考えるが本市のご見解は。

A 選挙管理委員会事務局長 公職選挙法では本人確認書類の提示を求めることについては義務づけはない。本市の期日前投票は宣誓書により本人確認を実施しており、時間によつては混雑がかなり発生し待ち時間の発生が懸念され、投票の機会の観点からもスムーズな投票も重要かと考え、宣誓書で本人確認はできていると考え、その形で実施していきたいと考えています。



男山八望自治会「夏まつり」

道路での不法投棄・不法駐車 対策／学校給食の無償化を



日本共産党
八幡市議会議員団
巖 博議員

Q 市道一ノ坪線について、古タイヤが大量に不法投棄され、加えて自家用車やトラックが長年放置されていました。その後、市や関係者によって古タイヤは撤去され、一定改善されました。この間の取組状況と今後の対策について、市の考えを教えてください。

A **建設産業部長** 市道一ノ坪線の放置車両については、定

期的なパトロールや沿道事業者への指導を行ってきました。令和6年度には、問題視されていた放置タイヤの撤去を行ってきました。今後、市道久保田山田線との交差点の形状を変更し、放置車両や路上駐車がしにくくなる工事を実施するなど、さらなる対策を実施していく考えです。

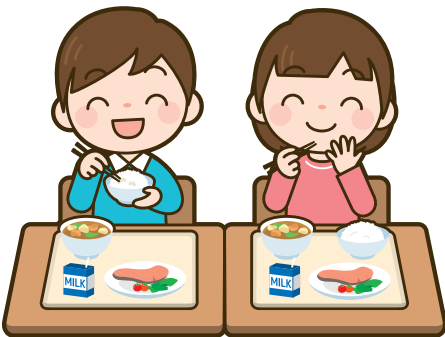
Q 市道久保田山田線との交

差点の形状を変えて、放置車両の路上駐車をしにくくする工事を実施されるということですが、工事のスケジュールなどを教えてください。

A **建設産業部長** 市道一ノ坪線における市道久保田山田線との交差点の工事については、令和8年1月頃の工事着手、期日は令和8年3月末を予定しています。

Q 学校給食の無償化は、多くの自治体が自己財源で賄われています。市として、具体的な軽減策についてどのような考えをお持ちですか。

A **こども未来部長** 学校給食費の無償化は子育て世帯への経済的支援効果が高いことから段階的に取り組んできましたが、物価高騰等により、更なる公費補助や無償化の実現は、国や府の支援がなくては困難と考えます。引き続き国の動向を注視し、国や府へ強く働きかけてまいります。



様々な先進自治体を紹介し、 質問を投げかけました！



市民共生クラブ
小北 幸博議員

Q 公式LINEの活用方法及び今後の方向性について。

A **政策企画部長** 本市では特に市民にお知らせしたい市政情報やイベント等について周知するための情報発信ツールの一つとして利用しております。今後の方向性については、本市の行政手続きのデジタル化、いわゆるオンライン申請がLINEからも出来る

といった利便性の向上に努めてまいります。

Q チャットボットを導入する考えについて。

A **政策企画部長** 先進地の事例などを参考に、まずは庁内向けの業務支援ツールとしての試験的な検証を行い、市民サービスへの有効性を検証してまいります。

といたった利便性の向上に努めてまいります。

Q チャットボットを導入する考えについて。

A **政策企画部長** 担い手不足や役員の高齢化、加入世帯の減少などがございます。役員の高齢化による負担に關しましては、負担軽減に繋げるための取組みとして、若い世代の方々が担い手として参加いただきやすい組織の運営について研究し、その成果を自

治組織団体の皆様にお示しするなど、支援を行う必要があると考えております。

Q カスタマーハラスメント対策として、全企業及び自治体にその対策を義務付ける改正労働施策総合推進法に伴った条例制定の考え方について。

A **川田市長** 「市民サービス」と「職員の職場環境」の両立に努めるべく、議員ご紹介のカスタマーハラスメント対策に関する先進的な事例も含め検討し、適切に対応してまいります。

といたった利便性の向上に努めてまいります。

Q 公式LINEの活用方法及び今後の方向性について。

A **政策企画部長** 本市では特に市民にお知らせしたい市政情報やイベント等について周知するための情報発信ツールの一つとして利用しております。今後の方向性については、本市の行政手続きのデジタル化、いわゆるオンライン申請がLINEからも出来る

といたった利便性の向上に努めてまいります。

Q チャットボットを導入する考えについて。

A **政策企画部長** 先進地の事例などを参考に、まずは庁内向けの業務支援ツールとしての試験的な検証を行い、市民サービスへの有効性を検証してまいります。

といたった利便性の向上に努めてまいります。

Q チャットボットを導入する考えについて。

A **政策企画部長** 担い手不足や役員の高齢化、加入世帯の減少などがございます。役員の高齢化による負担に關しましては、負担軽減に繋げるための取組みとして、若い世代の方々が担い手として参加いただきやすい組織の運営について研究し、その成果を自

治組織団体の皆様にお示しするなど、支援を行う必要があると考えております。

Q カスタマーハラスメント対策として、全企業及び自治体にその対策を義務付ける改正労働施策総合推進法に伴った条例制定の考え方について。

A **川田市長** 「市民サービス」と「職員の職場環境」の両立に努めるべく、議員ご紹介のカスタマーハラスメント対策に関する先進的な事例も含め検討し、適切に対応してまいります。

循環型社会の推進について



市民共生クラブ
福田 佐世子議員

Q 本市の1人1日当たりの家庭ごみ排出量は676グラムで、排出量が少ない自治体は、大山崎町575グラム、京丹波町587グラム、向日市615グラムです。また、本市の再資源化率は13・9%で、再資源化率の高い自治体は、綾部市46・9%、福知山市22・7%です。本市はごみの排出量が多く、再資源化率

が低い状況です。この数値をどのように評価しておられるのか、お聞かせください。

A 市民生活部長 1人1日

当たりのごみの排出量は年々減少傾向にある一方で、リサイクル率は近年横ばいの状況です。ごみの減量化とリサイクル率向上はごみ収集行政における重要な課題と認識し、資源物の回収率のさらなる向

上に向けての取組を検討する必要がありますと考えております。

Q 資源物のステーション回収は、公共施設などの常設ステーションと回収日に設置されるステーションがあります

が、自宅から遠い、場所や収集日が分かりにくい、月2回の回収頻度が、資源物を燃やさないごみとして排出する要因となっているのではないで

しょうか。分別しやすい仕組みや、身近な回収場所の設置が再資源化率の向上につながります。自宅前や近隣での資源物（かん・ビン・ペットボトル）の定点収集を行う必要があると考えますが、本市の見解をお聞かせください。

A 市民生活部長 資源物の回収内容の見直しや定点収集

につきましては、回収率向上に向けての検討を進めていくとともに、城南衛生管理組合とも協議を進めてまいりたいと考えております。



塵芥車で市の職員によるごみ収集風景

命と子どもを守る

支援に関する質問



活力やわたクラブ
寺田 圭佑議員

Q 猛暑から命を守るクーリングシェルターの拡充、市内連携について八幡市はどのような取り組みをされているのか。

A 建設産業部参与 これまでになかった地域に民間施設1施設を追加指定し、市内に広がりつつあると考えている。アンケートによる要望把握により今後の更なる施設活用を

図れるよう連携している。

Q 現在、男山と橋本の公民館がクーリングシェルターに指定されているが、同じように各地域にある、公民館、公会堂といった施設の積極的活用をしていくことはできないのか。

A 建設産業部参与 適当な冷房設備を有しており、滞在可能な共有スペースがない場

合や施設管理者が常駐していない施設の指定は行っていない。

Q ヤングケアラーについて、アンケート等での市内の実態調査は行われているのか。

A 福祉事務所長 記名式などによる実地調査は行っていない。国において個人が把握

できる方法による調査が推進されているが、調査方法、項

目が見えていないため、具体的な方法、項目を示すよう京都府を通じて国に働きかけている。

Q 長期休暇中の支援について、どう対応されているのか。

A 福祉事務所長 長期休暇中はヤングケアラーの孤立や負担が増加するおそれがあると考えており、見守り方法に関係機関と検討、共有し、必要に応じ家庭訪問や電話連絡を行い、支援が切れることの無いようにすることが大切だと考えている。



クーリングシェルターには、このマークが掲示されています。



総務部デジタル戦略課

観光まちづくり、ゼロカーボンシティの実現について



自由民主党
八幡市議会議員団
横須賀 生也議員

Q 本市における古民家の利活用の現状は。

A 建設産業部参与 令和4年度から国の「地域・日本の新たなレガシー形成事業」の採択を受け、門前町沿いの重要物件の活用として、人材の抽出や物件の抽出、活用用途やその事業スキームについて研究を行ってきました。今年度も同事業を活用し、対象施

設の選定、事業条件の詳細等検討と事業主体の設立を行う予定でしたが、国の事業が不採択となったため、今後の進め方を再度調整しています。

Q 官民連携等を進め、歴史資源を活用した観光まちづくりに関する考えは。

A 建設産業部参与 これまで国の「地域・日本の新たなレガシー形成事業」の調査に

ご協力していただいた方々にも、引き続きお話を伺うとともに、石清水八幡宮駅周辺整備のグラウンドデザインに描く将来像の実現に向けた検討と連動しながら、にぎわい創造の中心となる担い手の発掘や推進体制の構築を進め、ハー

ド・ソフトの両面から本市の北の玄関口である石清水八幡宮駅周辺のにぎわいづくりを

考えています。

Q 電力の需要場所から離れた土地に太陽光発電所を所有する発電事業者が発電した電力を、遠隔の需要場所に供給する契約形態であるオフサイトコーポレートPPAなどの太陽光発電を、本市の未利用地を利用して進めるべきでは。

A 建設産業部参与 これまでも未利用地を含む公共用地等において事業実施の可能性について調査してきましたが、条件に合う場所がありませんでした。



店舗と宿泊施設として活用された古民家

「DX・デジタル化」を推進するについて



無会派
山口 克浩議員

Q DX・デジタル化の推進について、ご所見をお聞かせください。

A 総務部長 急速な人口減少が見込まれる中で、持続可能なまちづくりのために、デジタル技術を活用することで、住民の利便性を向上させるとともに業務の効率化が図れるものと考えています。さらなるオンライン申請の拡充や書

かない窓口の導入などの市民サービスの向上やデジタル技術等を活用した業務の効率化を図ることにより、持続可能で効率的な行政運営が実現できるものと考えています。また、デジタル人材の育成については、地方公共団体情報システム機構や京都府等が実施する研修に参加しています。今後とも一般職員も含めて、研

修等に参加することにより、人材育成に努めていきたいと考えています。生成AIの活用については、文書の要約や校正、挨拶文や議事録作成など業務効率化に寄与するものと考えています。一方で、セキュリティや個人情報保護に対するリスクや誤情報の提供などの課題があることから、導入に向けては、これらの課

題を十分に検証していきたいと考えています。また、生成AIの導入に際しては、ガイドラインの作成も併せて検討していきたいと考えています。

A 政策企画部長 マイナンバーカードの空き領域の活用については、現在、窓口時間短縮の検討と併せ、市民サービス向上に向けた検討を庁内ワーキンググループにおいて行っています。その中で、空き領域を活用することが望ましい手続き等があれば、検討していきたいと考えています。

委員会審査報告

第3回定例会における委員会審査の概要は次のとおりです。
(議案名は20頁の議案・議決結果一覧表を参照)

(注) 報告番号と質問番号は連動しています。

総務常任委員会

(9月18日開催)

仕事と育児の両立支援の拡充のための
関係条例の整備に関する条例案など
2議案を可決

議案第42号・第43号を審査。

議案第42号では「制度新設の経緯について」「部分休業拡充のメリット及び想定される休業時間の使い方について」「部分休業及び子育て部分休暇取得に係る手続きについて」「子育て部分休暇制度の対象を小学1年生から3年生とした理由について」等10件、議案第43号では「限度額引上げによる市における影響額について」「選挙運動用ポスター及び選挙運動用ビラ作成費の金額の根拠について」の質疑があり、理事者より答弁がなされました。いずれも討論はなく、挙手全員にて原案を可決しました。

付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。

議会議務局、監査委員・公平委員会事務局、
固定資産評価審査委員会、会計課

〈所管事項審査〉
なし

政策企画部

〈議案審査〉

議案第42号

仕事と育児の両立支援の拡充のための関係条例の整備に関する条例案

(質疑) ・想定される子育て部分休暇取得理由について

・直近3年間の部分休業取得状況について

・子の病気等で職員が遅刻や早退することになった

場合の対応について
・子育て部分休暇制度新設に係る対象者数について
・近隣自治体における同様の休暇制度実施状況について
・条例提案が第3回定例会になった理由について

〈所管事項審査〉

(報告) ①第8次行財政改革実施計画について

(質問) ①スクラップ&ビルドの判断基準及び効果について

①現時点における事務事業及び補助金の見直しの対象について

①計画改定を行った取組事項について

①メンタルヘルスマネジメントの推進に係る管理職員研修の実施状況及び相談環境整備の内容について

①設定効果額の主な増額要因及び実施計画改定に係るポイントについて

(その他)

消費者相談、八幡浜市との友好都市協定、淀川舟運に関する質問あり

総務部、選挙管理委員会事務局

〈議案審査〉

議案第43号

八幡市議会議員及び八幡市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び八幡市議会議員及び八幡市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例案

〈所管事項審査〉

(報告) なし

(その他)

選挙公報に関する質問あり

市民生活部

〈所管事項審査〉

(報告) ①第3次人権のまちづくり推進計画策定に伴う市民意識調査について

(質問) ①アンケート回収率の目標及び回収率におけるデータの信頼度について

①地域が偏らないよう考慮したアンケート対象者の抽出について

①アンケート発送までのスケジュールについて

(その他)

八幡石不動の盛土に関する質問あり

文教厚生常任委員会

(9月19日開催)

財産の取得についてを可決

議案第49号を審査。

議案第49号では「今回取得する厨房備品数で可能となる配膳数について」「給食室の備品全体に占める今回の取得備品の割合について」等7件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。討論はなく、挙手全員にて原案を可決しました。

付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。

こども未来部

〈議案審査〉

議案第49号 財産の取得について

(質疑) ・さくら小学校給食室の環境について

・備品取得に係る納期について

・予定価格、落札価格、落札率について

・さくら小学校給食室の改修工事の主な特徴について

・給食室がドライ化されていない小学校について

〈所管事項審査〉

(報告) ①令和7年度(令和6年度対象)八幡市教育委員会事務事業点検・評価報告書について

②就学前施設における紙おむつ等納入業務委託の開始について

(質問) ①課題解決に向けた取組について

①特別支援教育・保育における支援が必要な子どもの早期発見につながった支援の具体的内容及び支援体制のさらなる充実の内容について

①放課後児童健全育成事業における積極的支援の内容について

①延長保育を実施している就学前施設及び当該施設の職員体制について

①Society5.0時代に求められる基礎的な力について

①幼小架け橋プログラム会議のスキームについて

①幼小架け橋プログラム会議における議論について

①児童センターごとの目標及び課題について

健康福祉部	<p>①学習支援活動の地域移行について</p> <p>②市外からの園児の受入れ状況及び当該園児に係るおむつの対応について</p> <p>③業務委託に係るプロポーザルの詳細及び業者選定の根拠について</p> <p>(その他)</p> <p>水泳指導、教員の負担軽減、第3期八幡市子ども・子育て支援事業計画、学校の在り方、給食費、日本語指導、就学前施設再編、図書館司書に関する質問あり</p>
-------	--

福祉事務所	<p>(所管事項審査)</p> <p>(報告) ①中核機関の運営について</p> <p>(質問) ①定例会議の内容及び参加者の声並びに会議における課題について</p> <p>①成年後見人の資質に関する認識について</p> <p>(その他)</p> <p>生活保護、子育て支援に係る手当、障がい者の移動支援事業に関する質問あり</p>
-------	--



建設水道常任委員会

(9月22日開催)

八幡市下水道条例及び八幡市上水道給水条例の一部を改正する条例案など2議案を可決

議案第44号・第50号を審査。

議案第44号では「工事業者における市の指定取得に係る手続きについて」「排水設備や給水装置に関する工事に係る「災害その他非常の場合」の具体例について」、議案第50号では「工事中の物価上昇への対応について」「予定価格及び落札率について」等5件の質疑があり、理事者より答弁がなされました。いずれも討論はなく、挙手全員にて原案を可決しました。

付託案件の他の質疑、報告等の質問は次のとおりです。

消防本部

消防本部	<p>(所管事項審査)</p> <p>(報告) ①熱中症における救急搬送人員について</p> <p>②マイナ救急実証事業について</p> <p>③京都府南部消防指令センター共同運用に関する検討状況について</p> <p>(質問) ①熱中症予防に係る啓発時期について</p> <p>①救急搬送人員の増加要因について</p> <p>②意識不明者の同意確認について</p> <p>②マイナ救急における暗証番号の要否及び個人情報保護の漏洩対策について</p> <p>②マイナ救急に係る啓発方法について</p> <p>②実証事業を先行実施した自治体におけるマイナ保険証の活用割合について</p> <p>②実証事業における懸念事項について</p> <p>②マイナナンバーカード不所持の際の救急搬送について</p> <p>③市民への周知の時期及び方法について</p> <p>③運用開始後の管外出動の有無について</p> <p>③共同運用実施に伴う人員配置の効率性及び費用の低減について</p> <p>③共同運用において人員不足となった場合の対応について</p> <p>③2期に分けて運用する理由について</p>
------	--

建設産業部	<p>(その他)</p> <p>通信障害時の119番通報に関する質問あり</p>
-------	--

建設産業部	<p>(議案審査)</p> <p>議案第50号 令和7年度市民体育館屋根改修工事請負契約の締結について</p> <p>(質疑) ・体育館利用者への周知方法について</p> <p>・今後のスケジュールについて</p> <p>・市民体育館へのエアコン設置予定について</p> <p>(所管事項審査)</p> <p>(報告) なし</p> <p>(その他)</p> <p>国道1号の用地測量説明会、府道八幡城陽線の街路灯設置、道路の除草、民間バスの増便、バス停のベンチ設置、土井南山2号線の安全対策、歩道の除草作業、改良軸団地の除却工事、公共交通網再編に関する質問あり</p>
-------	---

上下水道部

上下水道部	<p>(議案審査)</p> <p>議案第44号 八幡市下水道条例及び八幡市上水道給水条例の一部を改正する条例案</p> <p>(所管事項審査)</p> <p>(報告) なし</p> <p>(その他)</p> <p>下水道の維持管理に関する質問あり</p>
-------	---

産業振興室

産業振興室	<p>(所管事項審査)</p> <p>(報告) ①大阪・関西万博に関連する事業について</p> <p>(質問) ①EKKISPOTKYOTOの出演時間及び職員体制並びにヤワタカラのPRについて</p> <p>①京やわた聖地巡礼・ロケ地めぐりスタンプラリーの台紙の配架場所について</p> <p>①EKKISPOTKYOTO出演に係る費用について</p> <p>①EKKISPOTKYOTOでの市職員による特産品の販売について</p> <p>(その他)</p> <p>やわたお見合いコン、コメの生育状況、農地の相続に関する質問あり</p>
-------	--

令和 6 年度決算特別委員会

令和 6 年度決算特別委員会 各会計決算を認定

令和7年第3回定例会の本会議で付託を受けた、令和6年度の一般会計、5つの特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の各決算について、9月26日を初日に7日間にわたり審査を行いました。審査では、委員から439件の質疑がありました。質疑終結後、会計ごとに討論・採決を行いましたがいずれも討論はなく、採決の結果、令和6年度各会計決算をすべて認定しました。

なお、15、16頁に質疑事項の一部を掲載しています。
また、17頁に現地視察の様子と付託議案審査結果、18頁に一般会計決算の費目別内訳(円グラフ)を掲載しています。

	質 疑 事 項		質 疑 事 項
政策企画部	<ul style="list-style-type: none">・大学連携コーディネート業務委託料の増額理由について・生涯学習センター1階トイレ止水用ゲートパルプの取替理由について・自治振興助成金の増額理由について・組織診断サーベイの決算額及び内容について・消費生活対策に係る職員体制及び決算書への人件費の記載について・やわた市民文化事業団に係る公益事業比率と自主財源の関係性について・行財政改革検討懇談会及び総合計画検討懇談会における委員からの意見並びにそれぞれの計画への反映について・同和問題に係る職員研修の具体的内容及び講師について	市民生活部	<ul style="list-style-type: none">・八幡人権・交流センター及び有都交流センターにおける講師謝礼の当初予算の算定根拠及び府と市の財源内訳について・パートナーシップ宣誓制度の課題及び今後の検討事項について・食用廃油の回収場所決定に係る基準及び国道1号以南に回収場所がない理由について・固定資産税異動判読業務の内容及び委託先について・火葬料助成に係る斎場ごとの火葬件数について・「ごみゼロの日」啓発清掃活動の参加者数について・部落解放八幡市実行委員会への補助金の決算額が予算額より減額となった理由について・環境パトロールの業務内容及びパトロールで発覚した不法投棄の件数について
総務部	<ul style="list-style-type: none">・自動車損害賠償責任保険料の増額理由について・庁舎管理費における修繕費の主な支出内容について・市民に対する自主防災組織への加入促進について・訴訟委任委託料に予備費を充当した理由について・庁舎管理費における光熱水費の減額理由について・公債費の増加要因について・旧庁舎什器等廃棄業務の内容及び有価物の処分について・共用車更新に係る軽貨物車の費用及び更新基準について・水道事業会計の基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費の内容について	上下水道部	<p>(水道事業会計)</p> <ul style="list-style-type: none">・美濃山浄水場労働者派遣の目的及び業務内容並びに手数料として計上している理由について・漏水等緊急時対応業者確保業務の委託先及び委託内容について・令和6年度に自己水比率が減少した要因について・水道事業会計における出資金額のばらつきについて <p>(下水道事業会計)</p> <ul style="list-style-type: none">・下水道事業会計における出資金が平成30年度以降になくなった理由及び下水道事業会計への影響について・下水道技術支援業務委託料が当初予算額より増額した理由について・水洗化が進んでいない地域及び要因について
選挙管理委員会事務局	<ul style="list-style-type: none">・衆議院議員総選挙における期日前投票の会場使用料並びに開設時間及び開設日数について・衆議院議員総選挙における一般財源からの支出理由について	産業振興室	<p>(一般会計)</p> <ul style="list-style-type: none">・八幡産てん茶普及啓発事業の参加者数及びリピーター数について・大学連携環境教育推進事業における絵本読み聞かせの成果について・みどりのつどいグリーンカーテン作り苗配布会に係る事業費及び1株当たりの費用について・やわた流れ橋交流プラザの赤字経営解消の目的について・婚活事業の助成金の内訳及び事業内容について・農業の有する多面的機能促進事業に係る予算において減額補正後に予算流用した理由について・観光パンフレットの改定頻度及び令和6年度における修正内容について・高温対策支援事業における主な購入機器及び効果について・安全・安心でおいしいお米生産事業助成における助成額の設定基準について・八幡市商工業活性化事業助成における事業ごとの助成件数及び助成額並びに制度利用の要件について・地域農業担い手認定者支援事業助成における助成内容及び手続き並びに事業の周知方法について
消防本部	<ul style="list-style-type: none">・消防業務賠償責任保険の補償内容及び保険料の内訳について・警戒出動の主な内容及び出動件数について・水中ドローンの利用実績及び活用のメリット並びに今後の活用方法について・個人の防火装備品の決算額並びに耐用年数及び更新計画について・救命講習に係る決算額について・美濃山地区の防火水槽の撤去費用が当初予算額より減額となった理由及び減額補正しなかった理由について・令和6年度における救急搬送人員及び高齢者のうち軽症での搬送人員数について・梯子車分解整備の委託先及び車検について・消防団小型ポンプ搬送車の保有台数及び更新計画について・水中ドローンで対応可能な河川の流速について		
市民生活部	<ul style="list-style-type: none">・窓口業務委託に係る評価について・城南衛生管理組合じんかい関係負担金及びし尿関係負担金の算出方法について・非核平和都市宣言の横断幕購入の経緯について		

質 疑 事 項		質 疑 事 項	
産業振興室	(駐車場特別会計) ・予算額より収入済額が減少した理由について ・駐車場管理における集金・警備業務の詳細内容について ・さくらまつり期間交通安全警備業務を実行委員会が負担しない理由について	健康福祉部	(休日応急診療所特別会計) ・受診者減少に反して医薬品購入費が倍増している理由について (国民健康保険特別会計) ・国民健康保険料徴収における主な執行停止理由並びに令和6年度に執行停止が減少した要因について ・特定健康診査未受診者への受診勧奨通知における受診状況のチェック体制について (介護保険特別会計) ・家族介護者慰労金に係る助成理由について ・介護認定審査会の開催状況及び内容並びに委員報酬について ・居宅介護住宅改修費と介護度の関連性について ・高齢者健康相談事業の内容及び実施施設について (後期高齢者医療特別会計) ・保険料還付金における不用額の詳細について
	建設産業部 ・高齢者運転免許証自主返納支援に係る支出額と返納者数に基づく算出額との差異について ・市営福祉住宅における身体障がい者向け住宅と母子世帯向け住宅のバリアフリー化の相違点について ・交通安全対策費の繰入金及び諸収入の内容について ・バス路線廃止区間代替交通運行業務において地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用していない理由及び令和7年度での活用について ・運転免許証返納時の運転経歴証明書発行手数料の補助について ・街路灯を新設した場所及び設置要件について ・国土調査指定申請図書等作成業務及び地籍調査に係る補助率について ・市民スポーツ施設・都市公園等管理費の備品購入における落札減の発生理由及び減額補正をしなかった理由について ・令和6年度における河川浸没箇所及び令和7年度の計画並びに水戸城川の浸没について ・老朽化した水中ポンプの撤去について ・市道・下排水路等維持補修における擁壁補修工事の内容及び補修の理由について ・久保田川浮遊物除去に係る費用の内訳について ・ポケットパーク管理委託の業者選定方法について		いづも未来部 ・英語検定受検料負担の対象者を変更した理由について ・小学校教育振興におけるパソコンリース費用の減額理由について ・南ヶ丘第二保育園の統合移転とプール改修の整合性について ・病児保育事業費助成金の支出先及び算定方法について ・教育支援センターにおけるスーパーバイザーの役割及び指導助言の内容について ・プレ保育事業の目的及び効果並びに利用人数に対する市の評価について ・公私立保育所のパーテーション購入に係る補助率及び補助金の継続活用の可否について ・地域部活動の推進に伴う助成金への影響及び今後の助成金の在り方について ・G I G A スクール構想整備事業の成果について ・デジタル教科書の活用状況及び教職員における評判について ・地域交流支援事業の成果及び課題について ・小中学校における児童生徒支援加配における教員配置の偏りについて ・機動的児童生徒個別支援事業の詳細並びに事業費及び財源について
	福祉事務所 ・児童虐待防止啓発講演会の参加者数及び成果について ・子育て短期支援事業の概要及び利用延べ人数について ・くらしの資金貸付金における諸収入の内容について ・くらしの資金貸付金及び生活保護相談件数増加の要因について ・引取者のない死体の葬祭において連絡する遺族の範囲及び遺体を保管する期間について ・要約筆記者養成事業に係る事業費の内訳並びに事業内容及び研修等受講後の活動内容について ・遺族会活動助成における助成額の減少理由及び助成内容について ・談話コーディネーター配置委託料が令和5年度と同額となった理由及び委託料の妥当性について ・災害時要援護者に係る個別支援計画の策定状況及び内容について ・南ヶ丘浴場における備品等の修繕の対応について ・生活保護適正化ホットラインにおける情報提供件数及び主な内容並びに生活保護につながったケースについて		歳入 ・普通交付税及び特別交付税に係る交付金の主な交付対象及び内容について ・個人市民税及び法人市民税の決算額減少要因について ・くらしの資金貸付金及び国民健康保険無資格受診返納金の不納欠損額増加の要因について ・たばこ税減収の要因について ・きょうと地域連携交付金の目的及び対象事業について
健康福祉部 (一般会計) ・スポーツボイス講座の参加者の推移及び令和6年度に参加者が増加した要因について ・献血対策費における諸収入及び消耗品費の内訳について ・病院群輪番制度に係る負担金算出方法及び運営方法について ・産前・産後ヘルパー派遣事業の利用状況及び利用者数に対する評価について ・がん患者補装具購入費助成における男性の制度利用について ・やわたミドルクラブの事業費並びに事業に対する評価及び課題について ・健幸アンバサダーの事業費及び効果検証の方法について ・健幸クラウドシステムの活用方法及び今後の健康事業の展望について		総括 ・実質単年度収支が悪化している要因について ・地方交付税による人件費の増加分への補てんについて ・歯科衛生士による個別訪問指導の対象者選定方法について ・費用に見合った効果が十分に得られていない事業に対する評価について ・全事務事業一覧の活用方法及び課題について ・敬老のつどい以外の高齢者を敬う事業について ・同和問題に係る市の認識について ・南ヶ丘教育集会所における学習支援事業の最終目標及び着地点について	

令和6年度決算特別委員会の現地視察

令和6年度決算特別委員会の審査初日となる9月26日は、3か所の現地視察を行いました。名勝松花堂及び書院庭園では、倒木の恐れがある危険木の伐採状況と、大阪北部地震等によりき損した諸要素について復旧する修理工事の進捗状況（令和6年度は書院本部等の工事）を確認しました。橋本駅前広場では、広場街区道路やシエルト等の整備状況等を確認しました。八幡小学校では、屋内運動場の空調設備等の整備状況を確認しました。



名勝松花堂



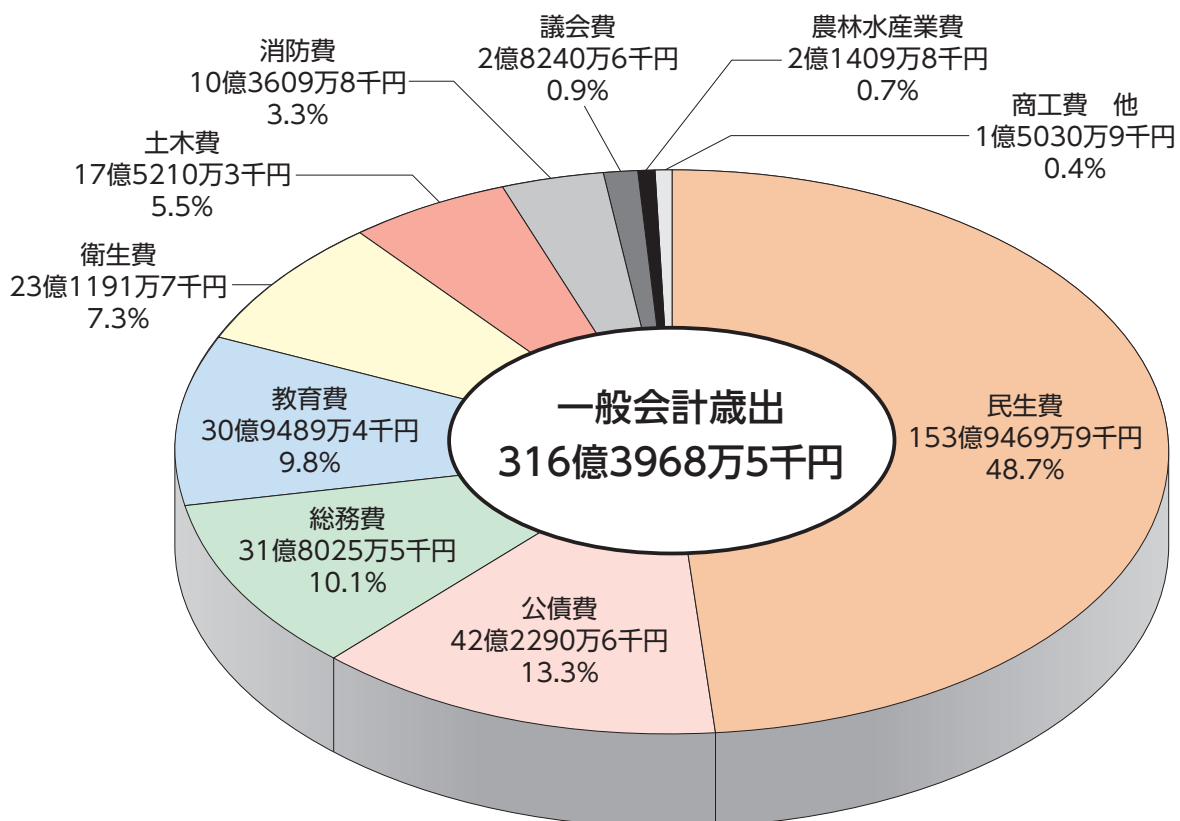
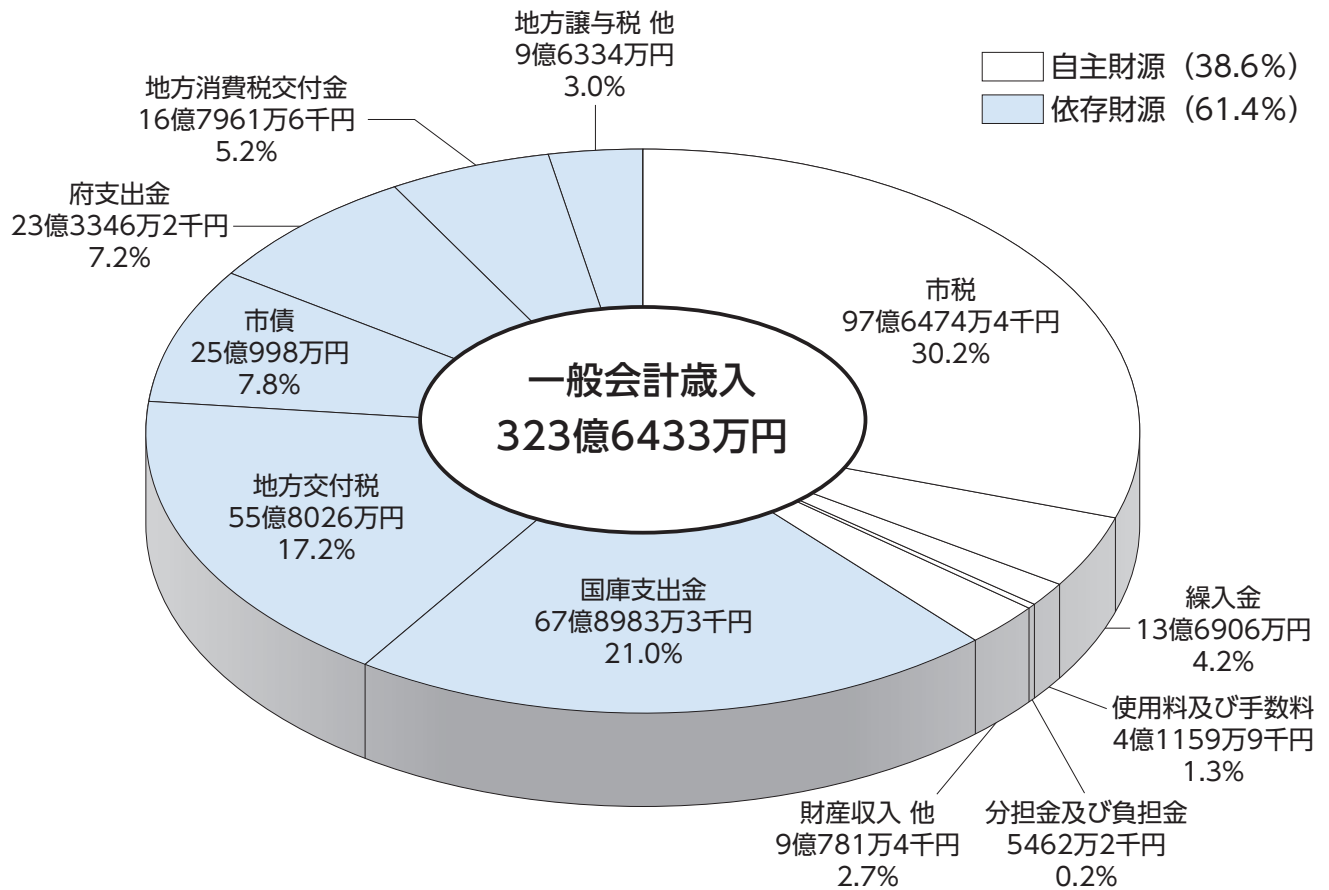
橋本駅前広場

付託議案審査結果

付託議案審査結果は次のとおりです。（○=賛成、×=反対）

議案番号	件名	採決結果	小北 幸博	横須賀生也	寺田 圭佑	南本 晃	中村 法子	田邊 晴美	鷹野 雅生	巖 博
議案第51号	令和6年度八幡市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	※委員長職のため表決権はありません。	○	○	○	×	○	○	×
議案第52号	令和6年度八幡市休日応急診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定		○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和6年度八幡市駐車場特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定		○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和6年度八幡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定		○	○	○	×	○	○	×
議案第55号	令和6年度八幡市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定		○	○	○	×	○	○	×
議案第56号	令和6年度八幡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定		○	○	○	×	○	○	×
議案第57号	令和6年度八幡市水道事業会計決算の認定について	認 定		○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和6年度八幡市下水道事業会計決算の認定について	認 定		○	○	○	○	○	○	○

令和6年度一般会計決算の費目別内訳



委員会視察報告

委員会の運営や調査に役立てるために、先進都市の取組状況を視察しました。

○総務常任委員会（10月23日、24日）

委員名：横須賀生也委員長、中村正公副委員長、
寺田圭佑委員、大野裕美委員、
南本 晃委員、中村法子委員、
太田克彦委員

視察先：神奈川県横須賀市

内 容：チャットGPT及び生成AIに関する
取組について



視察先：神奈川県綾瀬市

内 容：外国人住民が活躍する多文化交流について

議員研修会を開催

議員の政策形成及び立案能力の向上に資するため、地方自治法を基に、予算審議の前提となる予算編成の考え方等を学ぶ議員研修会を開催しました。

当日は、市の総務部長を講師に招き、財政状況に対する地方債や地方交付税の関わりについての講義を受けました。

最後に、議長から「今回の研修内容を活かし、市の意思決定機関としての役割を適切に果たすため、さらなる資質の向上に努めていただきたい。」と挨拶があり、研修会を終了しました。

初心に立ち返って学ぶよい機会となり、より深い審議を図るための実りのある研修会を開催することができました。



令和7年第4回定例会の予定

12月5日（金）本会議（開会日）

12月9日（火）本会議（一般質問）

12月11日（木）本会議（一般質問）

12月12日（金）本会議（一般質問）

12月15日（月）本会議（一般質問予備日）

12月17日（水）総務常任委員会

12月19日（金）文教厚生常任委員会

12月22日（月）建設水道常任委員会

12月24日（水）本会議（閉会日）

* 本会議および委員会は基本的に午前10時開会予定です。

* 定例会の予定は、今後変更となる場合があります。

* 本会議及び常任委員会はインターネットでライブ中継をします。

令和7年第3回定例会 議案・議決結果一覧表

令和7年第3回定例会の審議結果は次のとおりです。(○=賛成、×=反対)

議案番号	件名	議決結果	共産党					市民共生					自民党			公明党		活力		無派		
			山本邦夫	巖博	中村正公	澤村純子	中村法子	福田佐世子	小北幸博	小川直人	南本晃	大野裕美	鷹野雅生	山田芳彦	奥村順一	横須賀生也	清水章好	太田克彦	田邊晴美	叶善之	寺田圭佑	山口克浩
議案第42号	仕事と育児の両立支援の拡充のための関係条例の整備に関する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※議長職のため表決権はありません。	○	○	○	○	○
議案第43号	八幡市議会議員及び八幡市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び八幡市議会議員及び八幡市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第44号	八幡市下水道条例及び八幡市上水道給水条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第45号	令和7年度八幡市一般会計補正予算(第2号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第46号	令和7年度八幡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第47号	令和7年度八幡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)案	原案可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第48号	令和7年度八幡市下水道事業会計補正予算(第2号)案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第49号	財産の取得について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第50号	令和7年度市民体育館屋根改修工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第51号	令和6年度八幡市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第52号	令和6年度八幡市休日応急診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第53号	令和6年度八幡市駐車場特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第54号	令和6年度八幡市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第55号	令和6年度八幡市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第56号	令和6年度八幡市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第57号	令和6年度八幡市水道事業会計決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
議案第58号	令和6年度八幡市下水道事業会計決算の認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出議案第2号	八幡市議会会議規則の一部を改正する規則案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※報告第9号「専決処分事件の報告について(和解及び損害賠償の額の決定)」、報告第10号「城南土地開発公社に係る経営状況を説明する書類の提出について」、報告第11号「令和6年度健全化判断比率等の報告について」は議決を要しないため、報告のみで終結しました。
※議案第59号「人権擁護委員の候補者の推薦について」は、原案の候補者 吉川 昌弘(よしかわ まさひろ)氏を適任推薦としました。
※陳情・要望第15号「安全・安心の医療・介護を守るマンパワー確保に向け、すべてのケア労働者の処遇改善につながる報酬10%以上の引き上げを国に求める陳情」は文教厚生常任委員会に付託の上、閉会中の継続審査としました。

会派名等	共産党＝日本共産党八幡市議会議員団 市民共生＝市民共生クラブ 自民党＝自由民主党八幡市議会議員団 公明党＝公明党議員団 活 力＝活力やわたクラブ 無 派＝無会派
------	---

◎第3回定例会傍聴者数 本会議18名 委員会0名